

「子供の安全」「環境対策」



環境対策

- ①「環境対策」の標識(神戸市東灘区の国道43号で)
- ②「子供の安全」と書かれた標識(同市長田区で)



道路の制限速度は通常、車線数などから定められた「基準速度」をもとに決められている。43号の基準速度は現在60だが、深刻な騒音、排ガス被害で沿線住民による訴訟があったこと

速度制限が通常より厳しい路線で、「子供の安全」「環境対策」などの理由を示す標識を設置する動きが広がっている。ドライバーに規制の必要性を納得してもらい、速度順守を促すが狙いで、大阪、兵庫、滋賀の3府県警が今年新たに導入。他県警も設置を検討している。

大型トラックや乗用車が行き交う阪神間の大動脈・国道43号。大阪、兵庫両府県警は今年3月、大阪市西成区から神戸市灘区のほぼ全区間(約29キロ)に、「環境対策」と記したプレート164枚を、「40」という丸い速度標識の下に設置した。

国道43号や通学路 標識に表示

こうした標識は、道路標識令で「標識の規制理由を示す補助標識」と規定されており、文言は都道府県警で自由に決められる。ただ、これまでは「事故多発区間」などを除き、あまり活用されてこなかった。

日本大理工学部交通システム工学科の稲垣具志助教(交通安全)の話「規制理由を知らせることで、ドライバーに周辺環境や子供に害を及ぼしたくないといった具体的な気持ちは生じ、安易に違反を犯しにくくなる」と期待できる。こうした標識があること自体を周知すれば、効果も上がるのではないかと

「広い道なのになぜ40なのか」と思っていた。周辺環境のためとわかったので、守ろうという気持ちになった」と評価する。

3府県警は1年後をめどに、事故減少などの効果があるかどうかを検証する方針。ほかに奈良、福岡両県警も設置を検討しているという。

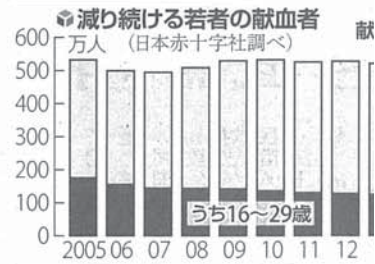
速度制限理由も知って

ライプスタジオを備えた献血ルーム(大阪市中央区で)＝金沢修撮影



「友達と遊びに行くつもりで献血に行くんですけど」今月下旬、若者で賑わう大阪・心斎橋の「御堂筋献血ルーム」付属のスタジオ。軽音楽バンド仲間の女子大学生3人が、司会のDJと談笑する声が響いた。

ここは全国で唯一、ライプスタジオを備えた献血ルームだ。2011年11月の



高木復興相(衆院福井2区)が代表を務める政党支部が、2014年分の政治資金収支報告書に、選挙区内で3件計8万円の香典を支出したと記載し、訂正していたことが30日わかった。高木氏の事務所は「本人が葬式に自ら参列、または葬式の日までに吊問した

わがりにくい場合」に設置を検討するよう全国に通達したのがきっかけだ。同庁は全国の導入状況を把握していないが、兵庫県警は43号のほか、今年8月、神戸市長田区や西宮市などの通学路のうち、制限速度を30キロに引き下げた11路線で「子供の安全」と記した標識66枚を掲示。滋賀県警も今年7月、同県草津市の小学校周辺で、「通学路」の標識を新たに設けた。